

令和6年度 法人本部 事業実績報告

(監事監査)

令和 6年 5月24日 令和6年度監事監査
(令和5年度決算・令和5年度事業報告)

(理事会)

令和 6年 6月 1日 第1回理事会
(令和5年度決算・令和5年度事業報告・建物外部修繕完了等・GHP空調機器設備更新工事計画・諸規定の改正・定時評議員会の開催)

9月 6日 第2回理事会【書面決議】
(GHP空調機器設備更新工事契約・施設整備借入金返済計画の変更・機械浴槽設置計画・機械浴槽設置に係る一般競争入札・第2回評議員会の開催)

11月30日 第3回理事会
(第1次補正予算・定款変更・第3回評議員会の開催)

令和 7年 3月 1日 第4回理事会
(第2次補正予算・令和7年度予算・令和7年度事業計画・介護テクノロジー導入支援事業費補助金に係る設備整備事業・諸規定の改正・第4回評議員会の開催)

(評議員会)

令和 6年 6月22日 第1回評議員会(定時)
(令和5年度決算・令和5年度事業報告・社会福祉充実計画の承認)

9月20日 第2回評議員会【書面決議】
(GHP空調機器設備更新工事契約・施設整備借入金返済計画の変更)

12月14日 第3回評議員会
(第1次補正予算・定款変更・前期事業報告)

令和 7年 3月15日 第4回評議員会
(第2次補正予算・令和7年度予算・令和7年度事業計画)

(入札)

令和 6年 8月21日 機械浴槽設置契約(サンリバー)【公募型一般競争入札】

令和 6 年度 介護老人福祉施設サンリバー 事業報告

令和 6 年度事業目標「経営基盤の強化」のもと以下に事業報告を行います。

1、年間稼働率の報告

(1) 特別養護老人ホーム事業の年間稼働率

目標：98% → 実績：令和 6 年度 96.4% (通期) ※震災避難者を除く
令和 3 年度 98.3% 令和 4 年度 98.2% 令和 5 年度 95.4%

(2) 短期入所生活介護事業の年間稼働率

目標：95% → 実績：令和 6 年度 81.8% (通期)
令和 3 年度 90.2% 令和 4 年度 95.6% 令和 5 年度 89.8%

(3) 通所介護事業の年間稼働率

目標：75% → 実績：令和 6 年度 71.8% (通期)
令和 3 年度 75.8% 令和 4 年度 70.3% 令和 5 年度 69.8% (前期)

目標稼働率に達することはできませんでしたが、(1)、(3) は前年より上回ることができました。(2) は大幅に減少したものの、年間の入所総数は令和 5 年度に 220 人、令和 6 年度は 380 人と増加しており、稼働率の低下は空床数を示しますが、総数の増加は回転率の上昇を示し、新たに利用した入所者数を示すものとなるので新規利用者を拡大できたことを表します。同じように利用実人員数からも令和 5 年度 225 人から令和 6 年度は 258 人に増えており、毎月平均して 2 人ほどの新規利用者を獲得してきたことになりました。

居宅介護支援事業を含めた全事業においても、ほぼ前年より稼働率及び件数は増えており、事業活動収入で見ても介護報酬改定が大きく影響していますが、全体の介護保険事業収入が前年より 5.2%増収しました。

2、目標への取り組み

(1) 特養の空床期間の削減

介護報酬改定によりトータルの報酬単価が高くなった特養事業の稼働率を安定させるため、積極的に長期に連続利用する短期入所者を特養入所契約に切り替えました。結果、短期入所事業の稼働率に影響が出ましたが、目標の観点からすれば報酬単価が高い事業を積極的に進めたことにより空床期間の削減が行われ目標達成につながったと考えています。

(2) 短期入所生活介護事業の見直し

短期入所事業は稼働率そのものを達成させることはできませんでしたが、稼働率を優先する方針により新規利用者を受け入れてこなくなっていた体制、利用形態の配分で見れば、これまで行ってきた長期に連続利用する利用者の割合増による依存形態から、短期間であっても新規利用者の獲得を行うに方針に見直したことで新たな利用者を獲得していくことにつながりました。既存の維持だけでは将来的な経営基盤の強化につながらないため、事業の中間に位置する短期入所事業を地域の状況や将来的なニーズなどに合わせて効果的に活用していきたいと思います。

3、目標経費率

(1) 事業費（雑収入除く）

目標：19% → 実績：19.3%

令和3年度 18.4% 令和4年度 19.9% 令和5年度 19.5%

(2) 事務費（雑収入除く）

目標：16% → 実績：16.6%

令和3年度 17.0% 令和4年度 15.7% 令和5年度 15.5%

物価、燃料費等の高騰により経費の増額傾向が続いています。令和6年度も為替レートの影響等により多方面で価格改定が行われましたが、事業費、事務費ともに目標を若干上回ったもの、全体的な経費削減に努めたことにより物価上昇率と比較して上げ幅を大幅に縮小させることができました。

4、令和6年度事業実績

(1) 各種補助金事業を活用した施設設備の更新

・JKA 補助金事業（7,500 千円）を活用してリクライニング式シャワー入浴装置 1 台と特殊機械浴槽 1 台を特別養護老人ホームに整備しました。

・愛知県介護テクノロジー導入支援事業費補助金（8,873 千円）を活用して無線環境の再構築及びセンサー付き介護ベッド 20 台を整備しました。

(2) 外国人技能実習生の活用

令和6年度当初から 10 名（サンリバー7 名、スマイルコート黒田 3 名）となったベトナム人技能実習生のうち、一般技能実習で入国していた第 1 期生 2 名が一般技能の上限となる 5 年の期限を迎えましたが、引き続き継続を希望したため最長 5 年間延長できるよう 2 名のみ特定技能実習に切り替えを行い

ました。また、第3期生1名が1年で帰国を希望したため合計9名となりました。

令和7年度当初に第2期生が3年の更新時期を迎えますが帰国を希望しており入れ替えが必要となります。ベトナム国での人材確保が困難になりつつあるので、今回よりミャンマー国で人材募集を行いました。早期に予定人数に達することができました。令和7年6月より始業予定となっています。

(3) BCP（業務継続計画）の策定と導入研修の実施

令和6年4月の介護保険法一部改正より策定が義務化された災害対策、感染症対策BCPについて、災害対策では策定支援の協定先である東邦ガス㈱（令和5年9月締結）とともに、災害対策BCP訓練研修を年2回（令和6年6月5日、令和6年12月11日）実施し、導入促進、普及啓発を行いました。

(4) 災害対策BCPの取り組みを通しての取組発表

上記(3)の災害対策BCPの策定、啓発活動について当施設の災害対策委員会で行われた取り組み（動画マニュアルの作成、訓練研修方法の見直し、企業との連携など）をまとめたものを令和6年度愛知県老人福祉施設協議会愛知大会で取組発表として県内の施設関係者に向けて行いました。見事、優秀賞を受賞することができ、令和7年9月に開催させる東海北陸ブロック大会で引き続き、発表を行うこととなりました。

(5) 能登半島地震被災者への支援

能登半島地震の被災者1名（輪島市：男性：被災当時95歳：要介護4）が令和6年2月からサンリバーに避難入所されていましたが、令和7年2月12日に約1年の避難生活を経て輪島市内の特別養護老人ホームに入所するため帰郷されました。1年の間に2回ほど入院しましたが幸いにも大事に至らず、長時間の移送にかかる負担に耐えうる健康状態を維持し、無事、移送タクシーで輪島市へ戻られました。帰郷の半年ほど前から調整してきましたが、復興状況の問題や避難が長期化することによって周囲や環境に変化をもたらし、様々な課題に向き合うことになっていきました。僅か1名の避難者の対応だけでしたが大規模災害がもたらす影響の大きさを経験することができました。

令和 6 年度 高齢者複合福祉施設スマイルコート黒田 事業報告
事業目標 「経営基盤の強化」(稼働率の向上)

介護付有料老人ホーム・短期入所生活介護事業（ショートステイ）

1、令和 6 年度稼働率

(1) 有料老人ホーム 95.3% （目標稼働率 88%）

(2) ショートステイ 89.5% （目標稼働率 80%）

有料老人ホーム、ショートステイともに目標稼働率を上回ることが出来ました。
引き続きこの稼働率を維持できるように努めてまいります。

2、稼働率向上策

(1) 介護・看護職員のケアのスキルアップ

介護職員・看護職員を中心に施設内外を問わず認知症、ターミナルケア、事故防止、感染症予防、誤薬防止等について学び、ケアのスキルアップにより入居者様に最適なケアを提供できるよう努めました。

(2) 利用者様の入院の減少

入居者様の日常に目を配り、些細な「気づき」を大切にして、家族様・各種医療機関の協力を得ながら早期対応に努めました。

(3) 営業活動

①日頃から医療機関のソーシャルワーカーや居宅介護支援事業所のケアマネジャー等との連絡を密にし、安心してご紹介いただける事業所となるよう努めました。

②ホームページ等に利用者様の施設内での様子やイベントの写真を掲載し施設への理解を深めいただくと同時に集客につながるような情報発信に努めました。

(4) 日常生活の充実

外出機会の増加や音楽・軽体操・クイズなどのレクリエーション活動の充実を図り、入居者様が、心穏やかに過ごしていただけるよう努めました。

(5) 事務部

①各種イベントやボランティアの受け入れ、各事業の PR に努めました。

②管理栄養士は介護・看護職員と連携し、入居者様の嚥下、咀嚼機能を把握して、誤嚥等を防ぎ入院化を防ぐよう努めました。

デイサービス事業

1、令和 6 年度稼働率 81.3% （目標稼働率 80%台）

デイサービスは、目標稼働率の 80%台は維持することが出来ましたが、例年冬場の稼働率が低い傾向にあります。病気等によるキャンセルを減らせるように努め更なる稼働率向上を目指します。

2、稼働率向上策

(1) 営業活動

地域包括支援センターや居宅介護事業所のケアマネジャー等に、利用者様が行ってみたいと思うような企画並びに創作活動、歩行浴、マッサージ等をセールスポイン

トにPRするとともに、SNS等を活用して集客力アップにつなげるよう努めました。

(2) 入院・病欠のキャンセルを減らす

入院・体調不良による利用キャンセルを減らすために、体調観察に留意し家族様とも連携し早期発見、対応に努めました。

(3) 利用者満足度の向上

①個別ケアや写真での報告、外出企画等、サービスの充実を図り既存利用者や家族様の満足度を高められるよう努めました。

②従業員の働きやすい環境を整えてモチベーションを高め、質の高いサービスを提供できるように努めました。

③利用者様にとって、快適で居心地の良い環境で過ごせるよう、必要な設備やアメニティを整備し室温設定や照明にも配慮に努めました。

④新規利用者様のニーズに対応できるよう、事務部とも連携し食事の工夫やボランティアの受け入れ等を積極的に行うよう努めました。

高齢者向け優良賃貸住宅事業

令和6年度稼働率 60.0% (目標稼働率 90%)

高齢者向け優良賃貸住宅は、目標稼働率を大きく下回りましたが、入居者様とのコミュニケーションをとり現状の稼働率を維持することは出来ました。引き続き、複合福祉施設内にある高齢者向け賃貸住宅という特色や交通の利便性をケアマネジャー等へのPRやホームページ等を通して情報発信し、入居者の増加に努めてまいります。

令和6年度 児童養護施設「宇宙」 事業報告

令和6年度の法人目標「経営基盤の強化（稼働率の向上）」のもと、児童養護施設「宇宙」として、以下の方針を掲げ、発展、向上に努め取り組みました。

1 児童相談センターとの連携

県内の児童相談センターや関係市町と連絡を密に行い、入所児童、一時保護委託や子育て短期支援事業について、積極的かつ計画的に受入れました。

過去3年間の各月1日現在の稼働率

年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	一時保護委託(延)	子育て短期支援事業
令和4年度	措置児童数(人)	39	36	35	39	39	36	39	39	39	39	39	41	38.3	46人	2組
	一時保護委託人数(人)	0	1	0	4	0	1	3	2	0	1	0	1	1.1	489日	12日間
	合 計(人)	39	37	35	43	39	37	42	41	39	40	39	42	39.4		
	稼働率(%)	81.3	77.1	72.9	89.6	81.3	77.1	87.5	85.4	81.3	83.3	81.3	87.5	82.1		
令和5年度	措置児童数(人)	39	39	39	39	39	40	40	39	39	40	40	40	39.4	26人	0人
	一時保護委託人数(人)	2	0	1	0	0	0	1	1	1	2	2	1	0.9	249日	0日
	合 計(人)	41	39	40	39	39	40	41	40	40	42	42	41	40.3		
	稼働率(%)	85.4	81.3	83.3	81.3	81.3	83.3	85.4	83.3	83.3	87.5	87.5	85.4	84.0		
令和6年度	措置児童数(人)	40	40	38	38	38	37	37	42	42	42	42	41	39.8	44人	1人
	一時保護委託人数(人)	1	2	1	2	1	2	2	4	1	1	1	2	1.7	725日	3日間
	合 計(人)	41	42	39	40	39	39	39	46	43	43	43	43	41.4		
	稼働率(%)	85.4	87.5	81.3	83.3	81.3	81.3	81.3	95.8	89.6	89.6	89.6	89.6	86.3		

2 人材育成

職員全体のレベルアップを目指し、施設内研修、施設外研修、外部との交流を次のとおり実施しました。

(1) 施設内研修

ア テーマ：救急入門コース

講師：木曾川消防署員

日時：令和6年7月11日(木) 10:00~11:00

イ テーマ：「アンコンシャスバイアスを知る、気づく、対処する」

講師：一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所

日時：令和6年9月12日(木) 10:00~12:00

ウ テーマ：「子どもの権利を保障するために」

講師：蛸沢 光

日時：令和7年3月6日(木) 10:00~11:30

(2) 各種団体、専門的機関の研修(別紙「研修会参加一覧」のとおり)

(3) 他施設等へ視察研修、インターンシップ

ア 一宮児童相談センターへのインターンシップ

日時：令和6年8月13日(火)~9月3日(火)(中止)

イ 救護施設愛厚新生寮へ施設調査（愛知県児童福祉施設長会）

日時：令和 6 年 9 月 19 日（木）

出席者：施設長 熊澤裕司

ウ 児童養護施設照光愛育園へ視察調査（自立支援担当）

日時：令和 6 年 10 月 31 日（木）

出席者：自立支援担当 木村圭祐

3 人材・人員の確保

職員が心身にゆとりを感じ、皆で相談し合えるような風通しの良い職場を構築するため、次のとおり実施しました。

(1) 職員面談の実施：2 回（7 月、12 月）

(2) 児童養護施設における人権擁護のためのチェックリスト(職員版)の実施：2 回（6 月、令和 7 年 1 月）

(3) 児童養護施設における人権擁護のためのチェックリスト(施設版)の実施：1 回（令和 7 年 2 月）

4 質の高い養育・支援

入所児童に対し、より質の高い、きめ細やかな養育・支援を行うため、次のとおり実施しました。

(1) 男子ユニットに専任の主任 1 人を配置

(2) 家庭支援専門相談員を専従としました。

(3) 「ヒヤリハット・事故報告マニュアル」、「外出・買い物マニュアル」、「施設内虐待防止マニュアル」を見直し、改定しました。

(4) 自立支援担当職員を新たに 1 人配置

5 社会的養育推進計画

令和元年度に策定した「児童養護施設宇宙 社会的養育推進計画（2020～2029 年度）」を見直し、令和 6 年度に後期計画「児童養護施設宇宙 社会的養育推進計画(2025～2029 年度)」を策定しました。この後期計画に基づき、今後、施設の小規模かつ地域分散化、高機能化、多機能化を進めていきます。

6 安心・安全な施設運営

(1) 施設火災を想定し、子ども達と職員を対象に消火器取り扱い講習を実施

講師：木曽川消防署員

日時：8 月 8 日（木）10:30～11:00

(2) 避難確保資器材の再点検を行い、非常食については、賞味期限が切れたものから、子ども達の嗜好に合わせたものに見直しをし、また、ミネラルウォーターについては、3 日分から 5 日分に増量しました。